PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-248128

(43)Date of publication of application: 05.11.1986

(51)Int.Cl.

G06F 3/153

(21)Application number: 60-088519

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

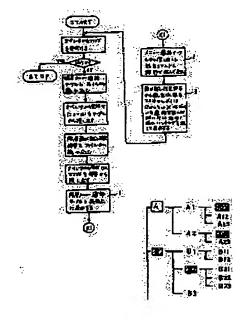
26.04.1985

(72)Inventor: SAITO KAZUMASA

(54) MENU STRUCTURE DISPLAY SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent erroneous inputting of an operator and improve operability when multiple hierarchical menu and jump designation function are mixed by displaying all commands designated by the operator and commands that can transit therefrom. CONSTITUTION: On receiving the command from the operator, the command inputted from a hierarchical menu transition table and a hierarchical jump designation dictionary is looked for and stored, and the hierachical menu transition table is displayed on a picture. The format is expressed in tree structure, and each command can be transisted to right side command connected by a line. Process 2 represents a rectangle enclosing A, and process 3 shows hatching made for B, B2 A11, A21. That is, after an operator inputted a command A and made processing for A, transition to A1. A2 is possible. It shows that, when designation for jump is to be made, transition to B, B2, A11, A21 is also possible.



⑩日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

母 公 開 特 許 公 報 (A) 昭61 - 248128

@Int.Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)11月5日

.G 06 F 3/153

7341-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

図発明の名称

メニユー構造表示方式

②特 顧 昭60-88519

②出 願 昭60(1985)4月26日

切発 明 者 斉 藤

和正

川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システ

ム開発研究所内

砬出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

砂代 理 人 弁理士 小川 勝男

外1名

明 顧 書

発明の名称 メニュー構造表示方式

特許請求の範囲

対話型婚末により、多重階層構造を持つ処理の 構定に際して、段階的に描定する階層構造メニュ 一と階層を飛びこして指定可能な機能とが逸を一プ ルと階層を飛びこし指定用幹書としてファイル警 し、指定された処理コマンドを判定して、ファイ ルされたテーブルと神書を検察しては当の所をも が行なっても機能と、階層構造と飛びこし機能とをミ ツクス及び運移可能なコマンドを表示する機能と を有するメニュー構造表示方式。

発明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本発明は、画面へのメニューステイタス表示法 に係り、特にオペレータに、その時点の状態、次 に指定できる機能等の表示を見易くガイダンスす ることに関する。

(発明の背景)

世来は、オペレータにステイタス表示する場合 階層構造を持つメニュー等に関しては木構造状に、 それ以外の飛びこし機能を表示する場合には、そ れ以降指定できるコマンド等のら列によりオペレ ータにガイダンスしていた。

(発明の目的)

本発明の目的は、輸来上に表示されるメニュー 構造が、階層構造を有する機能と飛び越し機能と が混在する場合に、木構造状にステイタス表示し、 それに飛びこし機能の場合は、図面への色付け、 あるいは、輝度を変えたりしてオペレータに見易 い機能構造をガイドすることにある。

〔発明の儀要〕

本発明によれば、多重階層構造メニュー構造を 階層メニューテーブルとして持ち、飛び越し機能 は指定辞書としてそれぞれファイルに持ち、現在 オペレータが行なつている機能をステイタスを表 示するために、ファイルのメニューテーブルから 該当機能コマンド名を捜し出し、そのコマンドの

特閒昭61-248128 (2)

下位レベルに属するコマンド群を捜し当てる。それによりコマンドのつながりを木構造状に表示する。また飛び越し機能相定辞書をファイルから読み込み、該当コマンドの下位レベルに属するコマンド列から、木構造状に表示されているコマンド群の該当部分をハツチングする(又は色を付ける。)。

以上から階層型、飛び越し型(ネットワーク型) が選在するステイタス表示が見易くオペレータに 示される。

〔発明の実施例〕

7

第1回 a , b は、コマンド排逸例を示す。同図 a は多重階層構造メニューの一例を示す。コマンドAはA1,A2へ運移が可能であり、さらに A1はA11,A12,A13へ運移可能であることを示している。A,B,… は同レベルのコマンドを示す。同図 b は階層飛び越し指定コマンドの例で、前記 a 図の様にAはA1,A2という風に段階毎に指定するだけでなく、Aは、A11,A21,B,B2に運移できることを示している。

第3図2で示した処理は、第4図aのAを囲んだ矩形を表わし、第3図3の処理は、B,B2,A11,A21に対して行なつたハツチングを示している。つまり、第4図aは、オペレータがAというコマンドを入力し、Aに対する処理のあとは、A1,A2に運移可能である。飛び越し指定を行なおうとする時は、B,B2,A11,A21にも運移可能であることを示している。

今、オペレータがAコマンド入力のあとA2コマンドを指定すると状態表示は第4図bの様に変化する。この時遷移可能なコマンドは、A21,A22,B3,A12,B22であることを示している。

(発明の効果)

本務明によれば、多重階層メニュー及び飛び館し指定機能が混在する場合に、その時のオペレータが指定したコマンドと、そこから遷移できるコマンドを全て表示することで、オペレータは次にどの機能を行なえるか、また一つ前はどこから遷移して来たかを常に把握でき、オペレータの誤入

第2図は、第1図のコマンド関連をテーブル及び辞書の形式に扱現したもので、同図 a は多重階層構造メニューを、階層メニュー運移テーブルに、同図 b は、階層飛び越し指定コマンドを閉層飛び越し指定許書で扱わしたもので、これらの情報はフアイルに要複されている。

力を防ぐことができ、操作性の向上が期待できる。 図面の簡単な説明

第1回は多重階層メニュー及び階層飛び越し指定コマンドの一例、第2回は階層メニュー選移テーブル及び階層飛び越し指定辞書、第3回は状態表示の概略フローチヤート、第4回は面面表示フォーマット例である。

1 … メニューコマンドの表示処理、 2 … 現在入力 されたコマンド表示処理、 3 … 飛び越し指定コマ ンド表示処理。

代理人 弁理士 小川膳



特開昭61-248128 (3)

